



対象者：図書館職員，教職員，教育関係者，マスコミ関係者，一般

参加費：JLA 個人会員 500 円，左記以外 1,000 円

申込み：下記の申込書を JLA 図書館利用教育委員会事務局まで電子メールにて送付([cue@jla.or.jp](mailto:cue@jla.or.jp))。

※申込書にご記入いただいた情報は，今回の研修の企画・運営の参考にするほか，今後，研修等の情報をお送りする場合などを除き，利用・公表することはありません。

定員：170 名(申込先着順)

申込締切：2014 年 2 月 26 日(水) 締切日以降は当日会場で受付

詳細：JLA 図書館利用教育委員会ホームページ

<http://www.jla.or.jp/cue/>

-----  
《図書館利用教育実践セミナー(2014 年 3 月 2 日(日))》参加申込書

■ 申込日： 月 日

■ 氏名：

■ 氏名ヨミ：

■ JLA 個人会員/JLA 個人会員以外の別(会員の場合は会員番号も)：

■ 所属：

■ 住所：

■ 電話番号：

■ 電子メール：

=====

(2)第 18 回図書館利用教育実践セミナー(in 京都)のご報告

情報リテラシー教育に関する基調講演，事例報告等を開催  
—パネルディスカッションで参加者と活発な質疑応答が行われる—

春田和男(東京家政大学)

日本図書館協会(担当：図書館利用教育委員会)は，2013 年 3 月 17 日，キャンパスプラザ京都にて，「生涯にわたって学び，考え，集える図書館をめざして～館種の壁を越えた情報リテラシー教育の展開～」と題し，第 18 回図書館利用教育実践セミナーを開催した。今回は，野末俊比古委員長(青山学院大学)の開会挨拶ののち，基調講演，事例報告，パネルディスカッションが行われた。

基調講演では、吉田右子氏(筑波大学大学院図書館情報メディア研究科教授)が「北欧の公共図書館と生涯学習—図書館はわたしたちの学校です—」と題し、デンマーク、スウェーデン、ノルウェーの公共図書館の最前線について、写真で交えて紹介した。

事例報告では次の2件の発表が行われた。1)家城清美氏(同志社大学・同志社女子大学・大谷大学嘱託講師, 元同志社女子中学高等学校司書教諭)「情報から意味を読み取る情報リテラシーの育成—育成の必要条件—」, 2)和田佳代子委員(昭和大学歯学部歯科医学教育学教室)「アクティブラーニングを主体とした双方向性の利用(者)教育」の2件である。

パネルディスカッションでは、事例報告の発表者に、青木玲子委員(国立女性教育会館)が加わり、事例報告の補足説明や質疑応答が行われた。今回のセミナーには、各館種の図書館職員、図書館学教員、関係業者など92名が参加した。

---

### (3)編集後記

第85号をお届けします。前号から間隔が大幅に空いてしまいまして、本当に申し訳ありません。今号では、特に3月2日に開催される第19回図書館利用教育実践セミナー(in 京都)のご案内をしました。多くの皆様のご参加をお待ちしております。(春田)

---

### (4)図書館利用教育委員会委員

(委員長)

野末俊比古 : 青山学院大学教育人間科学部

(委員)

青木玲子 : 独立行政法人国立女性教育会館

赤瀬美穂 : 甲南大学

天野由貴 : 椋山女学園大学図書館

有吉末充 : 京都学園大学人間文化学部

石川敬史 : 十文字学園女子大学

春田和男 : 東京家政大学人文学部

福田博同 : 跡見学園女子大学文学部  
久保木いづみ: 日本図書館協会事務局

---

<CUE>利用教育委員会通信 第 85 号(24 巻 1 号) 2014.1. 発行

・バックナンバー

<http://www.jla.or.jp/cue/>

・配信登録・変更・解除・お問い合わせ

[cue@jla.or.jp](mailto:cue@jla.or.jp)

※本紙は Yahoo! Groups を使って発行していますが, 日本図書館協会および当委員会, ならびに本紙の内容と Yahoo! とは関係がありません